

13

履修・学位申請

修士課程

本大学院の修了、および学位授与の要件は大学院学則、学位規程、学位授与に関する内規に定められています。学則は大学ホームページ内の在学生専用サイト、規程・内規は別紙を参照ください。

[修士課程]

1. 科目概要

I 必修特論

共通必修科目として「芸術文化論特論」を設ける。本科目は、芸術文化の普遍性と個性を広い視野から概観するとともに、全学生の問題意識の共有化をはかることを意図したもので、第一線で活躍している研究者、作家、伝統芸術継承者等を特別講師として適宜招聘し、学生の研究・制作活動への刺激とすることで問題の発見・探求・創出の糸口を呈示する。

II 原論(1科目必修)

本大学院の芸術文化研究の支柱である「比較文化、歴史、造形史、精神史、身体論、文学、デザイン論的研究」を進めるうえで、その基底となる考え方、研究の基本的道筋を、博士課程担当教員中心にそれぞれが目下の課題を切り口として指導する。

III 分野特論(1科目必修 *専門領域により指定)

研究・制作の基礎、基盤となる、より専門的視座に特化した講義科目。

IV 演習・研究

演習は1年次科目とし、個々の学生の問題意識の啓発とその研究展開を図る方法論の指導を基本とする。

研究は2年次科目であり、1年次からの継続性を重視しつつ、学位審査に向けた研究課題の設定と、その提示方法の研鑽に主眼を置く。なお、個々の研究内容の詳細については、それぞれの指導教員と計画の上決定する。主たる指導教員が決定後、科目を選択し登録すること。

2. 修了要件

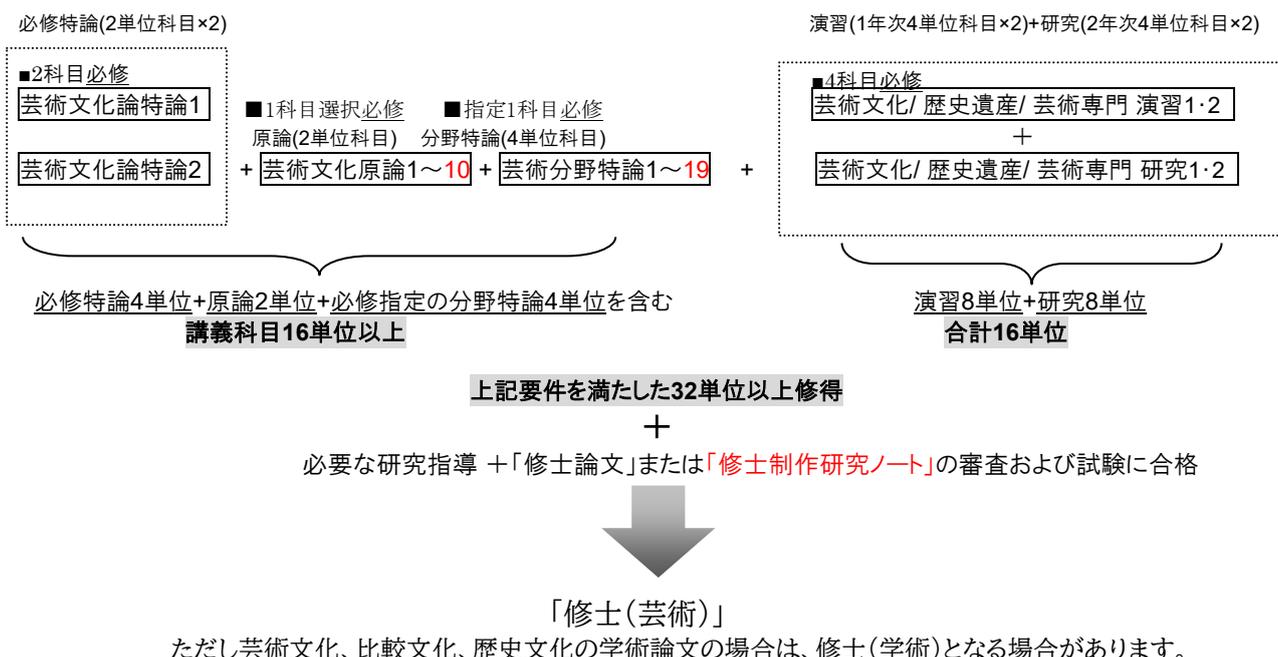
必修科目(「芸術文化論特論1・2」、「芸術文化原論」から1科目、「芸術分野特論」から研究領域に関する指定1科目)を含む講義科目16単位以上と、演習科目8単位(演習1・演習2、各4単位)、研究科目8単位(研究1・研究2、各4単位)の合計32単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で「修士論文」または「修士制作」の審査および試験に合格すること。

※特別開講科目および「建築総合演習」「建築総合研究」は修了要件に含まない。

<修士課程における在籍一年間での学位取得について>

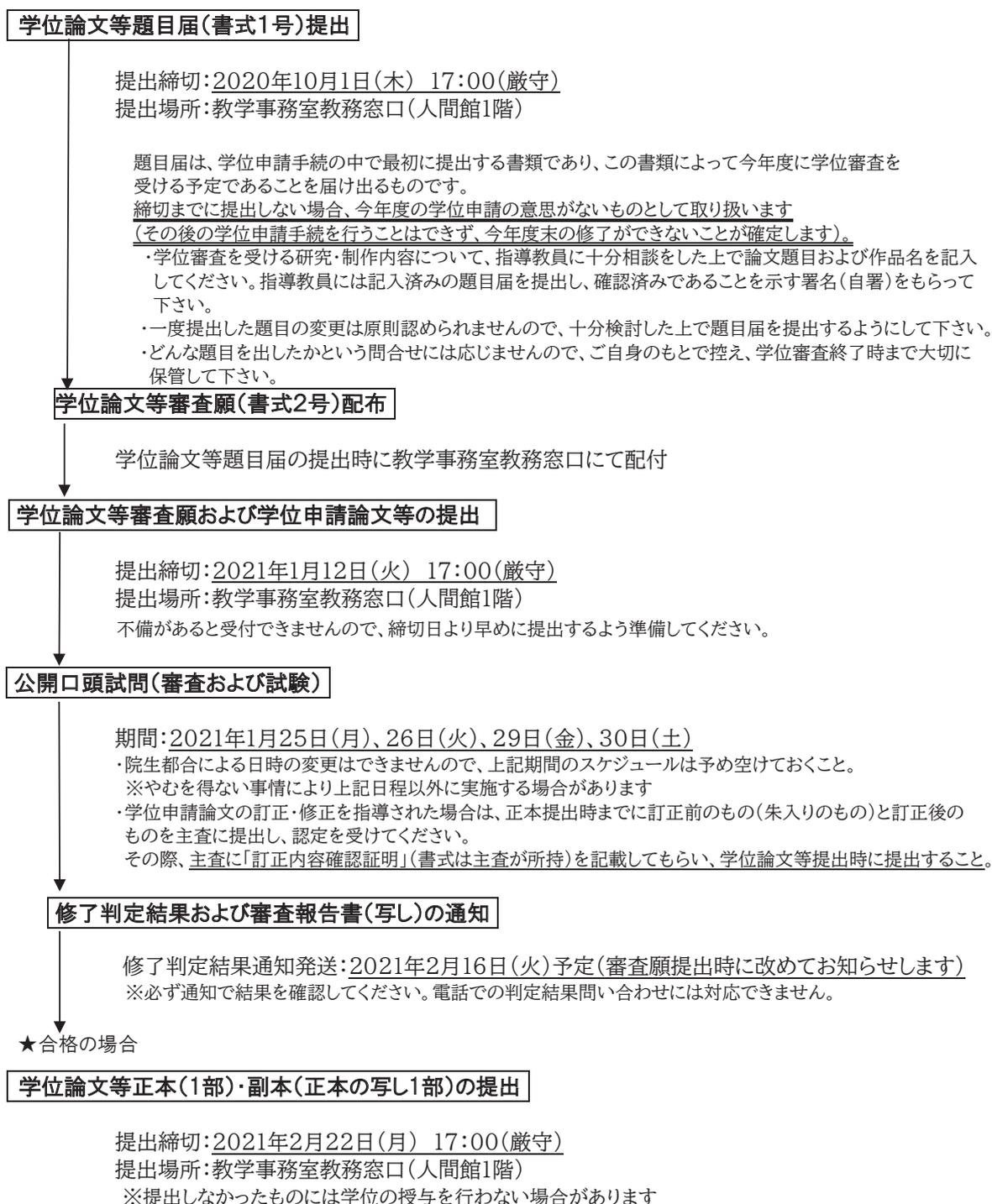
入学時において、既に教育実践や研究論文、権威ある展覧会、競技会等における優秀な受賞歴等の実績があり、かつ、修士論文、研究ノート・作品のテーマとなり得る研究課題を有し、学位審査に合格する資質、可能性があると判断された者は、入学選考時の業績評価を1年次必修の演習(8単位)に読み替え、修了要件の残り24単位を1年間で履修することができる場合がある。

3. 修士課程修了までの流れ



ただし芸術文化、比較文化、歴史文化の学術論文の場合は、修士(学術)となる場合があります。

4. 2020年度修士課程学位論文等提出の流れ



・上記手続を1つでも怠った場合、学位は認められませんので注意してください。学位申請できるのは修了見込みの者のみです。今年度に修了できないことが判明した時点(例:2年次前期終了の時点で修了に必要な科目の単位が修得できなかった)で上記手続はできなくなりますので、修了要件(単位)には十分注意してください。

・学位審査(公開口頭試問)において審査の対象となる修士制作物(修士作品)は、修士学位申請の時点で提出された資料と同一であることが原則です。この修士制作物を広く公開する場が「修了展」です。

5. 学位申請論文等の様式（学位申請時）

■論文で審査を受ける場合

①論文

32,000～40,000字(400字詰原稿用紙80枚以上100枚以内)。

1部ずつリングファイルかフラットファイルに綴ること。

②要約

本文の書式に合わせて1,800～2,000字。

1部ずつホチキス留めすること(横書は左上、縦書は右上)。

※論文とは別にすること

■論文と制作物で審査を受ける場合

①制作研究ノート

4,000字～40,000字(400字詰原稿用紙10枚以上100枚以内)。

1部ずつホチキス/ダブルクリップ/綴り紐等で綴ること。

横書は左上、縦書は右上を留める(クリアファイル不可)。

※必要に応じて英語の資料添付も可

②要約

本文の書式に合わせて1,000～1,500字。

1部ずつホチキス留めすること(横書は左上、縦書は右上)

※論文とは別にすること

③制作物資料

デジタルプリント用紙または他のメディア

作品写真：写真カラープリント六つ切サイズをA4判用紙に貼付

またはA4判デジタルプリント用紙にカラー出力

他のメディア：DVDなど

※適切な場所に専攻、学籍番号、氏名、作品タイトル、サイズ、素材、時間芸術の場合は時間(○分○秒)を記載すること。

■論文/論文と制作物 共通事項

提出部数：論文、要約、制作物資料それぞれ各3部

表紙の体裁：決められた形式(次ページ参照)で作成のこと

文字数表記：論文、要約それぞれ最終行に()書きで文字数を記入

※目次・注釈・図版・挿図・表等は字数に含まない

ページ番号：ページ下部にページ番号を付すこと。

※表紙、目次は含まない

1ページあたりの字数配置：パソコン使用の場合は下記表を参照のこと。

	文字配置	段組	1行文字数	行数	1ページあたり文字数
A4縦判	横書き	なし	40字	25行	1,000字
A4縦判	縦書き	二段組	一段35字	一段30行	2,100字

■英文で審査を受ける場合(グローバル・ゼミ生対象)

様式の要領を別途配布します。

6. 提出にあたって

■学位論文等審査願および学位申請論文等提出時【2021年1月12日(火)17:00締切】

1. 提出物

1. 「2020年度 学位(修士)論文等審査願」 1部
2. 「修士学位申請論文」または「修士学位申請制作研究ノート」 3部
3. 「修士学位申請論文(要約)」 または「修士学位申請制作研究ノート(要約)」 3部

※上記2、3は決められた形式の表紙を付けること(下記参照)

4. 制作物資料 3部 (論文と制作物で審査を受ける場合のみ)

5. 申請前チェックリスト ※題目届提出時に手交

⇒提出内容に応じて上記1～4を無地封筒に各1部ずつ入れる

(封筒表面右上に専攻・学籍番号・氏名を横書きで記載すること)

2. 提出の際の注意事項

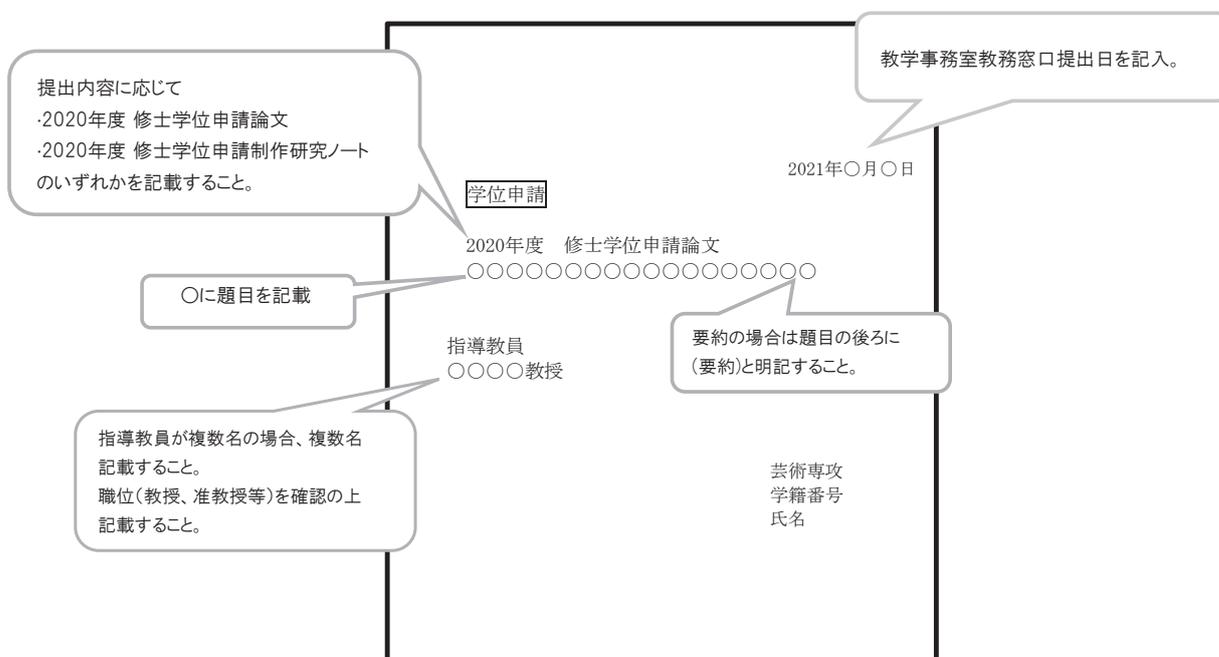
◎締切厳守…締め切りを過ぎたものは受理されません。

締め切り直前は、パソコンやプリンター等の使用が集中するため、機器の不備が起こりやすい時期です。機器の不調による提出遅延も認められません。時間の余裕を持って準備し提出前に再度確認しましょう。

◎不備のないものを提出する…不備のあるものは受理されません。申請前チェックリストで確認すること。

◎提出は申請者本人が行う…代理は認められません。渡航など予定のある場合は事前に提出すること。

●表紙の書式●



■学位論文等正本等の提出時【~~修了判定通知到着後~~ 2021年2月22日(月)17:00締切】

1.提出物

~~1.「2020年度—学位(修士)論文等審査願」1部~~

- 1.「修士論文」または「修士制作研究ノート」 2部
- 2.「修士論文(要約)」 または「修士制作研究ノート(要約)」 2部

※上記2、3は決められた形式の表紙を付けること(下記参照)

- 3.制作物資料 2部 (論文と制作物で審査を受ける場合のみ)

⇒提出内容に応じて上記1～4を無地封筒に各1部ずつ入れる

(封筒表面右上に専攻・学籍番号・氏名を横書きで記載すること)

- 4.「訂正内容確認証明」 1部

※訂正の指導があった場合のみ提出が必要です。主査より受け取り、正本等とあわせて提出すること。

提出がない場合正本は受理されません。

- 5.「許諾書」 1部

2.提出の際の注意事項

◎締切厳守 …締め切りを過ぎたものは受理されません。

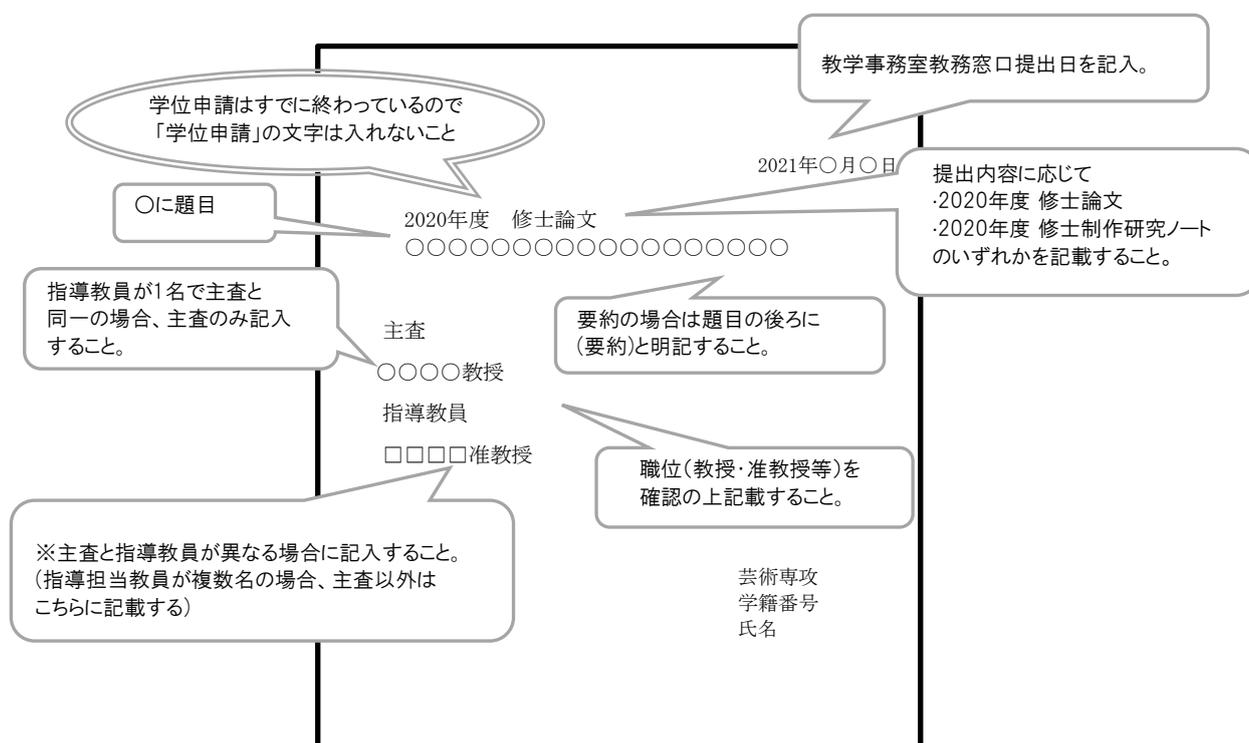
締め切り直前は、パソコンやプリンター等の使用が集中するため、機器の不備が起こりやすい時期です。機器の不調による提出遅延も認められません。時間の余裕を持って準備し提出前に再度確認しましょう。

◎不備のないものを提出する …不備のあるものは受理されません。

◎提出は申請者本人が行う …代理は認められません。渡航など予定のある場合は事前に提出すること。

◎修正指導があった場合…修正後の論文等について主査の確認を受け、「訂正内容確認証明」を主査から受け取ること。

●表紙の書式● 審査願提出時とは異なります。



[博士課程]

1. 科目概要

必修特論である比較芸術文化論特論 4 単位と研究、制作科目で構成されている。研究科目には「研究Ⅰ～Ⅵ」を設け、これらのうちひとつの「研究」を 3 年間継続履修し、博士論文を作成することを目標とする。「研究Ⅰ」では比較文化的研究、「研究Ⅱ」では歴史的研究、「研究Ⅲ」では美術史的研究、「研究Ⅳ」では精神史的研究、「研究Ⅴ」では造形計画、「研究Ⅵ」では身体表現研究を行う。

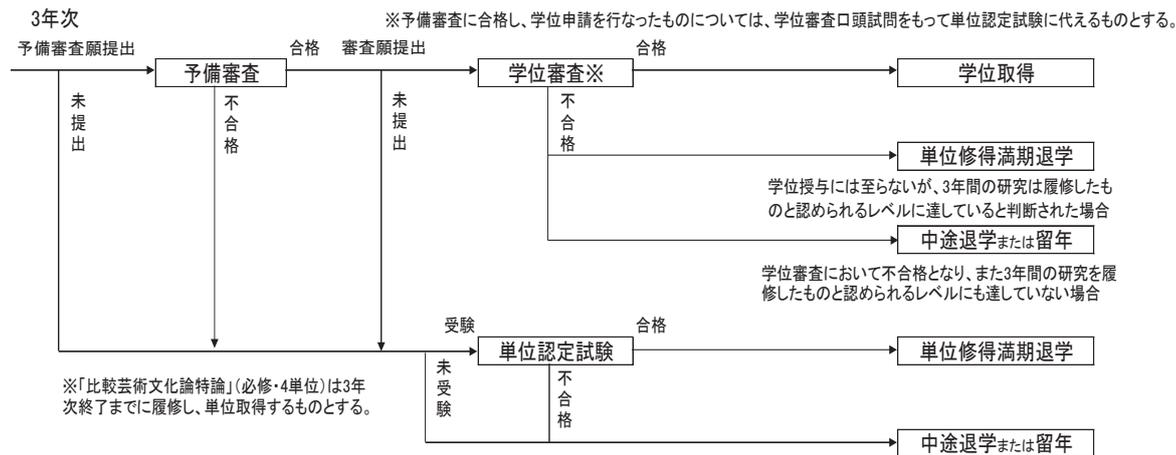
芸術を文化(社会)の中に位置づけ、芸術創造の根本課題を探究することが博士課程の教育、研究目的であるから、論文指導教員 1 名を配し、1 年次は各自の研究課題に応じた歴史的、思想的背景を認識し、研究テーマを確立していくための指導を主体とする。2～3 年次は、各自のテーマに沿って理論研究を進め、博士論文の提出に至るための研究指導を行う。また、同時に制作によっても研究深化を目指す学生には、制作指導のための科目を併設している。この場合、論文指導教員 1 名に加えて制作指導教員 1 名を配し、両者の綿密な連携のもと、制作と理論研究の高次の融合を目指す。

2. 修了要件

必修科目 4 単位、研究Ⅰ～Ⅵより 1 科目 12 単位(3 年間継続履修)、合計 16 単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び試験に合格すること。

なお、特に優れた業績を挙げた者については、別に定めるところにより、「在学期間2年以上で足りるものとする」としています(「学位(博士)授与に関する内規」参照)。

3. 博士課程修了までの流れ(2019年度以前入学生対象)



※3年次の学位申請(課程修了)に関する部分のみ記載

上表、単位修得満期退学者のうち、博士課程入学時より6年以内の者で、その後も研究・制作を継続していると研究科委員会が認めた場合は、課程博士の学位審査を申請することができます(「5. 単位修得満期退学とは」P.34参照)。

また、これとは別に「論文博士」の規程も定めています(「6. 論文博士とは」P.35参照)。

本大学院が授与する学位は博士(芸術)です。
ただし、芸術文化、比較文化、歴史文化の学術論文について、
博士(学術)とすることができます(大学院学則第36条第1項)。

4. 課程修了「課程博士」とは

[1]課程博士 学位審査(論文等提出)のスケジュール(2019年度以前入学生対象)

内容	提出物等	部数	提出期日・審査日等
学位論文等予備審査願提出	学位論文等予備審査願	1部	【予備審査願等配布】 5月8日(金)～6月26日(金)17:00 6月29日(月)～7月3日(金)17:00までに 教学事務室教務窓口へ提出 ※窓口対応時間厳守
	学位申請論文草稿	5部	
	学位申請論文の要旨	5部	
	(制作の審査申請の場合の参考作品資料等) 作品を含む場合は写真(カラープリント六切りサイズをA4版台紙に貼付、またはA4判デジタ ルプリント用紙にカラー出力)・他のメディア(DVD など、タイトル等明記)を提出	5部	
予備審査			8月下旬予定
予備審査結果報告			9月中旬予定(郵送)
(予備審査合格者) 学位論文等審査願提出	学位論文等審査願	1部	11月2日(月)～11月6日(金)17:00までに 教学事務室教務窓口へ提出 ※窓口対応時間厳守
	学位申請論文	5部または7部※1	
	学位申請論文要旨 (和文+英文)	5部または7部*1	
	(制作の審査申請の場合) 作品	2点以上 (作品資料は7部)	
	履歴書	5部または7部※1	
	参考となる他の論文等	5部または7部※1	
公開口頭試問期間			2021年1月9日(土)～11日(月・祝)、 16日(土)、17日(日)
学位審査結果通知			1月下旬(郵送)
(本審査合格者) 学位論文等提出	正本(製本の状態)3部 論文の全文(和文:PDF)および要旨(和文+英文: word可、PDF不可)の電子データ、 公開許諾書、リポジトリ登録申請書		2021年3月5日(金)17:00締切 教学事務室教務窓口へ提出

※1 審査種別(「論文審査のみ」または「論文+作品審査」)によって提出部数が異なります。

「論文+作品審査」の場合、学位申請論文・学位申請論文要旨・履歴書・参考となる他の論文等は、7部必要です

[2]提出物の様式(2019年度以前入学生対象) ※指定書式の配布および提出場所は教学事務室教務窓口

予備審査

- ①学位論文等予備審査願…指定書式(書式3号)
- ②学位申請論文草稿…分量は問わないが、論文草稿および図表等はまとめて1部ずつファイルに綴じること
(フラットファイル等二穴で綴じるもの)

パソコン使用の場合の書式は下の通り。

	文字配置	段組	1行文字数	行数	1ページあたり文字数
A4縦判	横書き	なし	40字	25行	1,000字
A4縦判	縦書き	二段組	一段35字	一段30行	2,100字

③学位申請論文の要旨…指定書式(書式4号)和文2,000字～4,000字。最終行に()書きで文字数を記入。

④論文・作品の審査申請の場合の参考資料等…写真、DVDなどを原則とする。

資料の適切な場所に専攻、学籍番号、氏名、作品タイトル、サイズ、素材、時間芸術の場合は時間(○分○秒)を記載すること。

※DVDの場合、機種が違うPCで再生可能か確認した後で提出すること。

学位審査(本審査)

■論文で審査を受ける場合

- ① 学位論文等審査願…指定書式(書式5号)
- ② 学位申請論文…本文文字数は400字詰原稿用紙300枚分(120,000字)以上350枚分(140,000字)以内。
論文内容に応じ、縦書き、横書きを選択。論文および図表等はまとめて1部ずつファイルに綴じること
(フラットファイル、リングファイル等二穴で綴じるもの)。

パソコン使用の場合の書式は下の通り。

	文字配置	段組	1行文字数	行数	1ページあたり文字数
A4縦判	横書き	なし	40字	25行	1,000字
A4縦判	縦書き	二段組	一段35字	一段30行	2,100字

※上記文字数に目次、注釈、図版、挿図、表等は含まない。
※本文の文字数を本文の最終行に()に入れて記載すること。例:(135,650字)

- ③ 学位申請論文要旨…指定書式(書式6号)。和文2,000字~4,000字。英文500語~1,000語。
※文字数、語数を最終行に()に入れて記載すること。例:(3,000字)(750語)
- ④ 履歴書…指定書式(書式7号)
- ⑤ 参考となる他の論文等

■論文・作品で審査を受ける場合

- ① 学位論文等審査願…指定書式(書式5号)
- ② 学位申請論文…本文文字数は400字詰原稿用紙100枚分(40,000字)以上、150枚分(60,000字)以内。
論文内容に応じ、縦書き、横書きを選択。論文および図表等はまとめて1部ずつファイルに綴じること
(リングファイル等二穴で綴じるもの)。

パソコン使用の場合の書式は下の通り。

	文字配置	段組	1行文字数	行数	1ページあたり文字数
A4縦判	横書き	なし	40字	25行	1,000字
A4縦判	縦書き	二段組	一段35字	一段30行	2,100字

※上記枚数に目次、注釈、図版、挿図、表等は含まない。
※本文の文字数を本文の最終行の後に()に入れて記載すること。例:(55,650字)

- ③ 学位申請論文要旨…指定書式(書式6号)。和文2,000字~4,000字。英文500語~1,000語。
※文字数、語数を最終行の後に()に入れて記載すること。例:(3,000字)(750語)
- ④ 作品資料…博士課程入学後の作品2点以上。作品写真(カラープリント六つ切サイズをA4判台紙に貼付またはA4判デジタルプリント用紙にカラー出力)、あるいは他のメディアを原則とする。
資料の適切な場所に専攻、学籍番号、氏名、作品タイトル、サイズ、素材、時間芸術の場合は時間(○分○秒)および作品保管場所を記載すること。
- ⑤ 履歴書…指定書式(書式7号)
- ⑥ 参考となる他の論文等

5. 学位審査合格後について

■ 正本等提出

- ① 製本した学位論文3部
 - ② 論文の全文(和文:PDF)および要旨(和文+英文:word可、PDF不可)の電子データ
 - ③ 公開許諾書
- を2021年3月5日(金)17:00までに教学事務室教務窓口へ提出。

■ 正本に関する注意事項

- ・表紙を付け、製本状態にすること(下記製本例参照)。
- ・やむを得ず分冊となる場合は、その旨明記すること。
- ・A4縦判横書またはA4縦判縦書2段組とするが、1枚あたりの文字数は問わない。
- ・表紙、本文目次、本編、註(注)、参考文献、資料一覧、資料、図表一覧(番号、作者名、タイトル、技法、年代、所蔵先、出典)、図版、発表論文リストの順とすること。
- ・本文が横書の場合は左綴じ、本文が縦書の場合は右綴じとすること。

- 製本例 ● 左綴じの場合(右綴じの場合は、下記様式を適宜右綴じ用に変更すること)

裏表紙	背表紙	表紙
	2020年度学位論文博士 題目 氏名	2020年度学位論文(博士) 題目※1 (1/2)※3 氏名※2

※1 題目は英文名も含むこと。

※2 表紙の氏名は、姓名だけでも良いが、本文では大学院名・研究科名・専攻名・姓名を必ず記載すること。

※3 分冊の場合記載すること。(表示は例)

6. 単位修得満期退学とは

所定の修業年限を在学し、定められた単位を修得したが、博士論文を提出せず、単位認定試験(成果物の提出を含む)に合格した場合を単位修得満期退学といいます。満期退学までの流れは以下の通りです。

- ・受験意思の申し出：2020年12月25日(金)まで
 - ・提出物：3年間の研究を取りまとめた成果物(20,000字程度、自由書式)
 - ・提出締切：2021年1月15日(金)17:00まで(提出先:教学事務室教務窓口)
 - ・単位認定試験：2021年2月1日(月)、2日(火)のいずれか
 - ・合否通知：2021年2月16日(火)発送予定
- 【合格】単位修得満期退学となり、博士課程入学時より6年以内の者でその後も研究・制作を継続していると研究科委員会が認めた場合は、「課程博士」として学位審査を申請することができます。
- 【不合格】中途退学または留年(いずれかを選択してください)

7. 論文博士とは

本大学院満期退学者のうち博士課程入学時より7年以上経過している者、または本大学院博士課程を修了しない者が本大学院に博士論文の審査を申請してこれに合格し、本大学院博士課程を修了した者と同以上の学力を有すると確認された者に学位が授与されます(学則第36条第2項及び学位規程第3条)。

[1]論文博士 論文審査のスケジュール

内容	提出物等	部数等	提出期日・審査日等
・学位論文等予備審査願提出 ・申請手数料の納入	学位論文等予備審査願	1部	【予備審査願等配布】 5/8日(金)～6/26(金)17:00 6月29日(月)～7月3日(金) 17:00 までに教学事務室教務 窓口へ提出 ※窓口対応時間厳守
	学位申請論文草稿	5部	
	学位申請論文の要旨	5部	
	その他参考資料等	5部	
	履歴書	5部	
申請手数料(35,000円)			
予備審査料納入	予備審査料(150,000円)		予備審査開始時
予備審査			8月下旬予定
予備審査結果報告			9月中旬予定(郵送)
(予備審査合格者) ・学位論文等審査願提出 ・学位審査料の納入	学位論文等審査願	1部	11月2日(月)～11月6日(金)17:00 までに教学事務室教務 窓口へ提出 ※窓口対応時間厳守
	学位申請論文	5部	
	学位申請論文要旨(和文+英文)	5部	
	履歴書	5部	
	参考となる他の論文等	5部	
学位審査料(300,000円)			
主査・副査の決定			11月中旬(非公開)
審査終了			主査・副査の選出日より100日以内
公開口頭試問			2021年1月9日(土)～11日(月祝)、 16日(土)、17日(日)
学位審査結果通知			1月下旬(郵送)
(本審査合格者) 学位論文等提出	正本(製本の状態)3部 論文の全文(和文:PDF)および要旨 (和文+英文:word可、PDF不可)の電子データ、 公開許諾書、リポジトリ登録申請書		3月5日(金)17:00締切 教学事務室教務窓口へ提出

[2]提出物の様式 ※指定書式の配布および提出場所は教学事務室教務窓口

予備審査(論文博士)

- ①学位論文等予備審査願…指定書式(書式8号)
- ②学位申請論文草稿…分量は問わないが、論文草稿および図表等はまとめて1部ずつファイル(リングファイル等二穴で綴じるもの)に綴じること。論文内容に応じ、縦書き、横書きを選択。

パソコン使用の場合の書式は下の通り。

	文字配置	段組	1行文字数	行数	1ページあたり文字数
A4縦判	横書き	なし	40字	25行	1,000字
A4縦判	縦書き	二段組	一段35字	一段30行	2,100字

- ③学位申請論文の要旨…指定書式(書式9号)。和文2,000字～4,000字。最終行に()書きで文字数を記入。
- ④履歴書…指定書式(書式10号)
- ⑤その他参考資料等

本審査(論文博士)

- ① 学位論文等審査願…指定書式(書式11号)
 ② 学位申請論文…本文文字数は400字詰原稿用紙300枚分(120,000字)以上600枚分(240,000字)以内。
 論文内容に応じ、縦書き、横書きを選択。論文および図表等はまとめて1部ずつファイル
 (リングファイル等二穴で綴じるもの)に綴じること。

パソコン使用の場合の書式は下の通り。

	文字配置	段組	1行文字数	行数	1ページあたり文字数
A4縦判	横書き	なし	40字	25行	1,000字
A4縦判	縦書き	二段組	一段35字	一段30行	2,100字

※上記枚数に目次、注釈、図版、挿図、表等は含まない。

※本文の文字数を本文の最終行に()に入れて記載すること。例:(220,650字)

- ③ 学位申請論文要旨…指定書式(書式9号)。和文2,000字~4,000字、英文500語~1,000語。
 最終行に()書きで文字数、語数を記入。例:(3,000字)(750語)
 ④ 履歴書…指定書式(書式10号)
 ⑤ 参考となる他の論文等

[3]学位審査合格後について…課程博士に準じます

8. 機関リポジリへの登録

[1]機関リポジリについて

「機関リポジリ」とは、大学等の機関が設置するインターネット上の電子書庫のことで、当該機関の研究者、学生、職員などその機関を構成している人たちの教育研究に関する著作物(成果物)を収集・蓄積・保存し、かつ、インターネットを通じて無償で学内外へ発信するシステムのことで。※1

研究成果の社会的還元のため、博士論文の正本を提出するとともにリポジリ登録に係る手続きが必要です。

そのため正本提出時にリポジリ登録「申請書」および「公開許諾書」(以下[2]参照)の提出をお願いします。

論文正本は芸術文化情報センターへ所蔵の上※2、要旨データは学位授与後3ヶ月以内に、論文全文は学位授与後1年以内に、インターネットの利用により公開します※3。

※1 公益社団法人 著作権情報センターHP「図書館と著作権(黒澤節男 著)」より引用。

※2 正本は閲覧を可とします。

※3 学位規則の一部を改訂する省令(平成25年文部科学省令第5号)の施行により義務付けられています。

[2]権利に関する許諾について

博士論文を公開するにあたり、正本とリポジリのそれぞれについて、論文および参考作品資料の公開・複写に関する意思確認となる「公開許諾書」の提出が必要です。

なお、論文が共著である場合や、図版や資料を論文に掲載する場合等、その他著作権等の権利に抵触する場合、【①論文への掲載】と【②リポジリによる電子公開】を行うことに関して、権利所有者に許諾を得る必要があります。権利所有者への確認には時間を要するため、許諾の手続きや依頼を早めに行うよう準備をお願いします。

学位審査に関する問合せ先 教学事務室教務窓口(人間館1階)TEL:075-791-9125

月~金 9:00~18:00、土 9:00~17:00(日曜・祝日休)

※長期休暇中など通常の授業期間以外は平日9:00~17:00となります

※学内立入禁止期間・事務局休止期間を除きます

※窓口対応時間と提出締切時刻は等しくない場合がありますので注意してください

14

大学院における資格取得について

1. 専修免許状の取得について

本大学院修士課程では専攻の領域ごとに下記の専修免許状を取得することができます。ただし、すでに同教科の一種免許状を取得済みであるか、あるいは大学院修了までに取得、あるいは取得要件を満たすことを条件とします。

芸術研究科(修士課程)芸術専攻

- ・芸術論・芸術史・芸術表現に関わる領域： 中学校教諭専修免許状(美術)および高等学校教諭専修免許状(美術)
- ・歴史遺産研究の領域： 中学校教諭専修免許状(社会)および高等学校教諭専修免許状(地理歴史)

専修免許状取得希望者は、1年次の4月30日(水)17:00までに芸術教育資格支援センター(人間館4階)までその旨を申し出ること。なお、履修に際して特別な費用は必要ありませんが、免許状申請時の費用は個人負担となります。免許状申請手続きについては、2年次(修了見込年次)の秋頃に芸術教育資格支援センター掲示板にて通知しますので、申請を希望する場合はその内容に従って手続きをしてください。

2. 免許状取得のための要件

修士の学位を有することに加え、領域ごとに指定された科目(選択必修の要件を満たした計24単位)を修得すること。

● 芸術専攻(芸術論・芸術史・芸術表現の領域)

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択	
芸術文化原論1		2	4単位以上選択必修
芸術文化原論3		2	
芸術文化原論4		2	
芸術文化原論5		2	
芸術文化原論6		2	
芸術分野特論1		4	4単位以上選択必修
芸術分野特論4		4	
芸術分野特論5		4	
芸術分野特論6		4	
芸術分野特論7		4	
芸術分野特論8		4	
芸術分野特論9		4	
芸術分野特論10		4	
芸術分野特論11		4	
芸術分野特論12		4	
芸術分野特論13		4	16単位以上選択必修
芸術分野特論14		4	
芸術分野特論15		4	
芸術文化演習1		4	
芸術文化演習2		4	
芸術専門演習1		4	
芸術専門演習2		4	
芸術文化研究1		4	
芸術文化研究2		4	
芸術専門研究1		4	
芸術専門研究2		4	

● 芸術専攻 (歴史遺産の領域)

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択	
芸術文化原論2 (歴史遺産)		2	24単位以上選択必修
芸術文化原論7 (歴史遺産)		2	
学術基礎3		2	
芸術分野特論2 (歴史遺産)		4	
芸術分野特論3 (歴史遺産)		4	
歴史遺産演習1		4	
歴史遺産演習2		4	
歴史遺産研究1		4	
歴史遺産研究2		4	

3. 科目等履修制度を利用した博物館学芸員資格取得について

本大学院博士課程および修士課程では、本大学の科目等履修制度を利用して、博物館学芸員資格を取得することができます(受講料35,000円)。資格取得を希望する場合は、博物館学芸員資格ガイダンスに出席してください。

ガイダンス日時:2020年4月22日(水)15:00~16:00 場所:NA404